

2026年2月3日

合同会社International Linkage
ドイツメッセ日本代表

世界の製造業をリードする産業見本市 「HANNOVER MESSE 2026」

防衛向け製造技術に特化した「防衛生産エリア」を新設

ホール26で、安全保障関連製品の製造に使用される技術、機械などを紹介

■ハノーバーメッセの新たな展示フォーマット：防衛生産（Defense Production）エリア

ハノーバーメッセは、新たな展示フォーマットとして、防衛分野向けの最先端製造技術に特化した「防衛生産（Defense Production）エリア」を導入します。この専門的プラットフォームでは、防衛・安全保障産業が、セキュリティを重視しながら、迅速かつ効率的に製造能力を拡大するための実践的なソリューションを紹介する企業が出展します。出展企業は、ハノーバーメッセならではの産業界との緊密な連携とグローバルな集客力を活かし、その取り組みを紹介します。

ホール26の「防衛生産（Defense Production）エリア」は、安全保障関連製品の製造に使用される技術、機械、システム、または部品を提供するメーカー・サプライヤーのためのプラットフォームとして、中心的な役割を果たします。

「ハノーバーメッセでは、AI、デジタル化、自動化によって、現在や未来の工場がいかに効率的かつ柔軟で生産的になるかを紹介します」「新たに設置される防衛生産（Defense Production）エリアは、特に防衛・安全保障分野からの来場者が、安全かつ効率的に生産規模を拡大するためのソリューションについて学ぶための中核的拠点を提供します」と、ドイツメッセの取締役会議長のヨハン・カックラー博士（Dr. Jochen Köckler, Chairman of the Managing Board of Deutsche Messe AG.）は述べています。

来場者は、自動化やアディティブ・マニュファクチャリングから、デジタル化、革新的な素材に至るまで、産業バリューチェーン全体にわたるソリューションについて知ることができます。この新たなプラットフォームは、サプライヤーとユーザーの直接的なつながりを促し、セキュリティ上重要な用途向けの産業生産について、的を絞った対話を促進します。

ホール26の好立地に位置する「防衛生産（Defense Production）エリア」を、ロボット工学、物流、IT/OTセキュリティ、IIoT、ワイヤレスおよびクラウドといった分野と隣接することで、強力なシナジーを生み出します。

協力パートナーは、防衛・安全保障装備の国際展示会であるDSEI Germanyで、同展示会は2027年3月にハノーバー国際見本市会場で初開催される予定です。

【本件に関するお問い合わせ先】

合同会社 International Linkage ドイツメッセ日本代表：竹生
東京都世田谷区玉川3-20-2 マノア玉川第3ビル501
TEL：080-1396-9902、または03-6403-5817